

## 講演会 『子どもの育ちから学ぶ親の生き方』

第 2 回家庭教育学級を終えて

学究委員 肥後久美子

浅井正彦先生(京都市教育相談総合センターカウンセラー)をお招きして、去る10月24日会議室にて講演会を開催いたしました。先生は京都市の様々な学校で教鞭を執って来られた中、育成学級との関わりが強く、現在はカウンセラーとしてご活躍中です。ご自身の体験を通しての実例や、啓発ビデオ“未来へはばたけ！君の翼で”を視聴し、お話を伺いました。

**ノーマライゼーション** お互いの価値観や生活を認め合い、障害の有無・老若男女・地域・家庭・学校・職場において隔てなく、等しく参加し、生きる正常な社会を目指し活動される中、障害を持つ人々にとっては、まだまだ壁が厚いことを知りました。周囲の理解によって障害はいくらでも軽減できるという事。目が不自由な方々の為に作られた道路の点字ブロックなのに平気でその上に、自転車を放置していく。これは障害のある方々にとって、更に生活を不自由にしてしまっているひとつの例です。また、子どもなら誰もが行ってみたいと願う『東京ディズニーランド』へのアクセスの新幹線には車椅子が通れる車両が皆無に等しいため、非常に困難を極めるのが現実だそうです。しかしながら、敢えて校外体験学習としてディズニーランドに行くことを実行されている養護学級があると知りました。

平成16年4月には、京都市立北総合養護学校が誕生します。自宅近くに養護学校があったとしても、障害種別によっては、遥か離れた学校への通学を余儀なくされている現在ですが、来年4月には、これまでの養護学級校も総合制・地域制に変わり、自立と社会参加を目指し、高等部には職業学科も新設されるそうです。幸い、高倉小は育成学級との身近な交流により直接学んでいます。まずは私たち父兄が日常の現実や情報を知ることで、心の隔たりを取り、真のノーマライゼーションが広く浸透することを願っています。